




2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 龍ヶ崎市立川原代小学校 】

1 実践テーマ	II・III・V
2 実施対象者	龍ヶ崎市立川原代小学校 環境・行事 : 全学年 70人 体育 : 3・4・5・6年 49人 おもてなし教室 : 3・4・5・6年 49人 レスリング教室 : 全学年 70人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育 ・ 総合的な学習の時間) ② 行事名 (運動会 ・ おもてなし教室 ・ レスリング教室) ③ その他 (環境) (2) 地域における活動 1 イベント名 () 2 その他 ()
4 目標 (ねらい)	○2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、おもてなしの心を醸成する。 ○オリンピック・パラリンピック種目の話を聞き、体験することで、スポーツを楽しむ心を育む。
5 取組内容	○掲示物作成 ・東京大会の種目、コンセプト、オリンピック・パラリンピックに参加する日本や世界の代表選手へのメッセージを掲示する。 ・昨年度作成したものに新入生のメッセージや児童がかいた応援ポスターを加え、児童生徒のオリンピックに向けた気持ちを高める。 ・掲示物に加え、運動会でオリンピック・パラリンピックへの意識を高めるような種目を設け、保護者・地域の方に見てもらおう。  ○おもてなし教室（10月） ・エミレーツ航空チーフパーサー服部先生の講話  

服部先生から、キャビンクルーの仕事や大切にしている心構えについて話を聞くとともに、訪問した世界各国の様々な文化について紹介していただき、英語をはじめとした外国語や国際社会に対する児童の興味・関心が高まった。また、実際に海外で活躍している服部先生との交流を通して、国際的な視野を広げることができた。

・おもてなし体験



お茶の入れ方等、お客様に対するおもてなしの作法を体験することを通して、思いやりの心の大切さを感じとり、人と接するときの心構えを学ぶ機会となった。この体験で学んだことを生かし、友達との接し方を見直す児童の様子も見られ、おもてなしや思いやりの心の醸成につながった。

・会食マナーについて



服部先生と実際に会食をしながら会食のマナーについて学ぶことができた。また、世界各国の食文化についても話を聞くことができた。

和やかな雰囲気の中で、これまでの学習を振り返りながら、児童は積極的に服部先生に質問することができた。服部先生からは、おもてなしの心をもって世界中の人々と交流することの楽しさやすばらしさについて教えていただいた。

○レスリング教室（12月）

・竜ヶ崎第一高等学校根本先生の講話

1984年のロス五輪レスリング グレコローマン68kg級に出場経験のある根本先生からは、オリンピックのすばらしさや、努力することの大切さなどについて学ぶことができた。




・レスリング体験

先生の模範演技を見たり、実際にレスリングの楽しさを味わったりする活動を通して、これまで経験することのなかったレスリングの魅力を感じることができた。

この経験は、自分の知らない様々なスポーツへの興味や関心を高める、良いきっかけづくりとなった。

また、オリンピックから直接話を聞くことができた経験は、児童たちにとってかけがえのない体験となった。



	<p>○体育の授業におけるパラリンピック種目の体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャの実施（1月） ・シッティングバレーボールの実施（3月予定） <p>パラリンピック種目を体験する体育の授業を実施した。昨年度から継続しているため、児童はルールをよく理解して競技の楽しさを味わうことができた。</p> <p>○まとめの学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を振り返り、新聞にまとめる。 ・まとめたものを掲示する。 <p style="text-align: center;">【掲示物の写真】</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>○掲示物の作成では、自分の書いたメッセージを嬉しそうに眺めたり、知らなかった種目を発見したりする児童の様子から、大会への関心が高まっていることを感じた。また、多くの保護者・地域の方が足を止め、掲示物を見ていたことから、学校でのオリンピック・パラリンピックに向けた取り組みを広めることができたと感じた。</p> <p>○レスリング教室を通して、オリンピックの素晴らしさや代表になるまでの努力についての話を聞いたり、レスリング競技を体験したりすることができた。どの学年の児童も関心をもって話を聞き、模範演技に目を輝かせる姿が見られた。</p> <p>○おもてなし教室では、海外で活躍する講師の話を真剣に聞いたり、日本での暮らしとの違いや仕事で気を付けていることなど、率直に質問したりすることができた。機内のメニュー表やお茶を提供する所作から、お客様への心遣いを感じ、友達やこれから日本へ訪れる旅行者への接し方について考える機会となった。</p> <p>○まとめ学習では、この1年の調べ学習や体験を振り返り、オリンピック・パラリンピックをより身近に感じるということができたという感想が多かった。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○昨年度の取り組みであるパラリンピック競技の実施や掲示物作成は継続して行うようにした。</p> <p>○今年度は、競技だけでなくオリンピック・パラリンピック開催国として様々な方を迎えるという意識をもてるよう、講師の依頼をした。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○今年度の講師を探す中で、本県の教育現場にもオリンピックアンプがいることが分かった。そのような人材を生かせるようになるとよいと感じた。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○児童が作成した掲示物はオリンピックまで貼り、新入生にも周知していきたい。メッセージを更新することで、共に盛り上げていこうという気持ちを醸成していきたい。</p> <p>○本物に触れる機会は、児童にとって大変有意義な時間であった。次年度以降も機会を設けていきたい。</p>